

吉沢久子・古谷綱武展

2019年3月に101歳の天寿を全うされた家事評論家の吉沢久子さん。吉沢さんが新潟日報紙面で連載することとなったきっかけは、夫・古谷綱武さんの新潟日報連載『新潟遠望』でした。



画像提供 新潟日报社



画像提供 坂井市春江図書館

◀ 古谷綱武さん
古谷つなつむぎ
▶ 吉沢久子さん

本展では古谷さんの『新潟遠望』や吉沢さんの『家事レポート』のパネルを関連資料とともに展示します。

2020年 1月21日(火)～3月15日(日)

関連
イベント

「吉沢久子さんに学んだ シニアの老後を楽しむ処方箋」

3/1 (日) 午後2時～3時30分 (予定)

【講師】阿部 絢子氏 (生活研究家、消費生活アドバイザー、薬剤師)

【会場】新潟日報メディアシップ6階ナレッジルーム

【定員】90名 ※先着順、要事前申し込み

【参加費】500円(会期中有効の観覧券付き、パスポート会員は無料)



あべ あやこ
講師 阿部 絢子氏

生活研究家、
消費生活アドバイザー、薬剤師

新潟市中央区出身。共立薬科大学卒業。洗剤メーカー勤務を経て、消費生活アドバイザーとして、出版・講演など幅広く活躍中。

お申し込み方法

- ◆メール、FAX、往復はがきのいずれかに、イベント名と「①氏名、②郵便番号・住所、③電話(FAX)番号」をご記入の上、にいがた文化の記憶館へお申し込みください。
- ◆お申し込み時と同じ方法で、後日、折り返し受講券をお送りします。
- ◆当館ホームページのお問い合わせフォーム、当館窓口でも受け付けています。

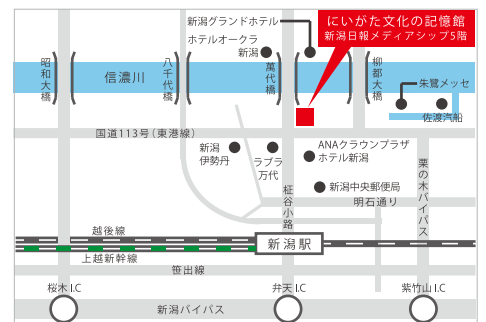
開館時間 10:00～18:00 (入館は17:30まで)
休館日 月曜日(2月24日は開館)、2月25日(火)
入館料 一般500円、学生(高校生以上)300円、**中学生以下無料**
※20名以上の団体は、各料金から2割引き
同時開催 企画展示「新潟の米と酒」

主催 にいがた文化の記憶館、**新潟日报社**
共催 新潟日報美術振興財団、**NIT、BSN新潟放送**
協力企業 田村紙商事株式会社
協力 故吉沢久子氏
展示協力 福井県坂井市春江図書館、「月刊キャレル」編集部

NIMMC にいがた
文化の記憶館

〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1
新潟日報メディアシップ5階
TEL. 025-250-7171 FAX. 025-250-7040
URL. <http://nimmc.jp>
E-mail. kiokukan@honey.ocn.ne.jp

- 交通のご案内
新潟駅から タクシー約5分 徒歩約15分
新潟空港から タクシー約15分
- メディアシップ第1・第2駐車場(24時間営業)のご案内
第1: 料金 220円/30分(夜間最大1,000円)
台数 80台(3～4階、一部月極あり)
第2: 昼間料金 200円/30分(昼間最大700円)
夜間料金 200円/60分(夜間最大300円)
台数 110台



～ご来館のお客様へ～
開館時間(10:00～18:00)以外はメディアシップのエレベーターは5階に止まりません。ご注意ください。